

平成21年度

湯梨浜町教育行政の点検及び評価

平成22年6月

湯梨浜町教育委員会

目 次

はじめに	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
平成21年度教育委員会の主要施策	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
教育委員会議及び教育委員の活動	・・・・・・・・・・・・・・・・	36

はじめに

教育委員会の事務の点検・評価制度の導入について

湯梨浜町教育委員会は、『げんき・いきいき・かがやきのまち』づくりを目指して、人格の完成という普遍的な教育目標と「21世紀、夢がふくらみ一人ひとりが輝くまちづくり」の実現に向けて、住民を主役とした生涯学習の推進と学校教育の充実の向上に努めているところです。

さて、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正（平成20年4月1日施行）され、各教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この改正では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、教育委員会が所掌する事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務付けられました。

湯梨浜町教育委員会は、法改正の趣旨に即し、昨年度に引き続き平成21年度の事務事業について「教育委員会事務の自己点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(平成19年6月27日一部改正)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成21年度湯梨浜町教育委員会の主要施策

湯梨浜町教育委員会では、別紙の組織に基づき多様な事業を展開しておりますが、自己点検・評価の対象事業は、平成21年度の教育委員会の権限に属する事務のうち、主要な事業を抽出し、担当課(教育総務課、生涯学習・人権推進課)で、事業のねらい、概要、取組状況、成果、課題等について主要事業シートを作成し、事務の管理・執行状況について自己点検・評価を行うものとしします。

この主要施策の点検・評価では、社会問題となっておりますいじめ・不登校の問題や中学校のあり方、学力向上対策、生涯学習や同和教育の推進など重要な教育課題への対応と、町民に説明責任を果たす必要がある予算執行を伴う施策を中心に、次に掲げる主要な25項目を取り上げ、施策レベルでの点検・評価を行い、今後に向けた課題についても検討を行うものとしします。

【自己点検・評価の流れ】

- ① 毎年教育委員会としての重点施策を策定 (毎年3月まで)
- ↓
- ② 事務局(教育総務課、生涯学習・人権推進課)による自己評価
- ↓
- ③ ①の自己評価を教育委員会に諮り、意見を伺う
- ↓
- ④ 教育委員会において、議会に報告する報告書を提出し承認を得る
- ↓
- ⑤ 報告書を町議会に提出し、報告する (毎年6月定例町議会)
- ↓
- ⑥ ホームページ等で町民に公表する

平成21年度教育委員会点検・評価の主要事業一覧

1. 学ぶ意欲を育む学力向上推進事業
2. 少人数学級
3. 外国青年招致事業
4. エンジョイ！イングリッシュプロジェクト in 鳥取
5. 要・準要保護児童生徒就学援助費
6. 特色ある学校づくり補助金
7. 教育相談員の配置
8. 運動部活動推進事業
9. 児童生徒支援職員（日本語教育支援員等）の配置
10. 青少年育成町民会議事業
11. 通学合宿事業
12. 人権フェスティバル
13. 同和教育推進大会
14. 文化会館・児童館事業
15. 部落解放文化祭事業
16. 湯梨浜町体育協会事業
17. スポーツ少年団運営事業
18. 湯梨浜町体育指導委員連絡協議会事業
19. 無形民俗文化財の保護
20. 橋津地区歴史景観の整備
21. 湯梨浜文化大学
22. 中央公民館施設管理及び利用状況
23. 図書館事業
24. 中学校のあり方
25. 幼保一体化施設

※平成21年度の教育委員会の権限に属する事務のうち、主要な事業を抽出し、担当課(教育総務課、生涯学習・人権推進課)ごとに、自己評価を実施。

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 1. 学ぶ意欲を育む学力向上推進

担当課 教育総務課

事業のねらい	児童生徒の自発的な学習意欲を育むため、次の2点を柱にして推進する必要があると考え、本事業に取り組む。 ① 子どもたち自らの「学ぶ意欲」を育むための魅力ある授業づくり ② 子どもたちの「意欲」を育むための就学前からの保護者研修会		
事業の概要	(1) 学力向上会議の実施 (2) 教職員対象研修会の実施 (2回) (3) 保護者研修会の実施 (2回) (4) 子どもの意欲・学力向上の成果を測る検査の実施 ・学力検査…中学生を対象に年度末に実施 ・児童生徒アンケート…小学校中学年以上を対象実施		
取組状況	4月27日(月) 第1回学力向上会議 4月28日(火)～5月11日(月) 児童生徒・保護者アンケート実施 5月31日(日) 第2回学力向上会議 6月1日(月) 第1回保護者研修会(東郷中学校区) 6月2日(火) 第1回教職員研修・第1回保護者研修会(北溟校区) 6月17日(水)～19日(金) 春の一斉学校公開 8月5日(水) 第3回学力向上会議 8月6日(木)～7日(金) 第1・2回授業力向上研修 9月4日(金) 第4回学力向上会議 9月30日(水) 第3回授業力向上研修 10月14日(水) 授業研究会I 10月21日(水)～23日(金) 秋の一斉学校公開 12月8日(火) 授業研究会II・第4回授業力向上研修 2月16日(火) 第2回教職員研修会・第2回保護者研修会		
予算額	2,080,000円	決算額	2,009,540円
自己評価	成果	・授業力向上研修を4回実施し、子どもの意欲を育む授業改善のあり方について継続的・系統的に研修を深め、学習意欲を育む授業のあり方・客観的な子どもの現状把握・変容等を第2回教職員研修において全職員に発表し、その成果を共有することができた。	
	課題	・各校の課題、研究との連携が不足し、共通実践が図れない面があった。 ・保護者研修、啓発が不十分であった。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 2. 少人数学級

担当課 教育総務課

事業のねらい	小中学校の児童生徒の実態に鑑み、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させることにより、各学校生活への適応の円滑化、基礎学力の定着化のため、学級編制の少人数化を図る。		
事業の概要	<p>【県1/2負担】小学校1・2年生では30人、中学校1年生では33人を上限とする学級編制を実施することが可能な教員数を該当校に配置する（加配）。</p> <p>【町全額負担】小学校3～6年生では33人、中学校2・3年生では35人を上限とする学級編制を実施することが可能な教員数を該当校に配置する。</p>		
取組状況	<p>少人数学級の実施</p> <p>1) 泊小2年生 町1/2負担</p> <p>2) " 4年生 町全額負担</p> <p>3) 羽合小1・2年生 町1/2負担×2</p> <p>4) " 3・6年生 町全額負担×2</p> <p>5) 北浜中1年生 町1/2負担</p> <p>6) " 3年生 町全額負担</p>		
予算額	小学校 20,940,000円 中学校 6,980,000円	決算額	小学校 20,910,000円 中学校 6,970,000円
自己評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習中、児童生徒一人一人の理解度や作業の様子を把握しやすく、声をかけることや場に応じた支援を行うなど細やかな対応ができた。 ・ 人数が少ないため、教室に空きスペースが取りやすく、学習中の活動や作業がしやすい。 ・ 生活の中で忘れ物が多い子、ルールが守れない子、友だちとの関係づくりがうまくいかない子がいるが、人数が少ないために、子どもたちと十分に時間をとって話すことができ、保護者との話し合いも十分にとることができた。 	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学力定着の面については、学校、学年、教科によって差異が見られる。 	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 3. 外国青年招致事業

担当課 教育総務課

事業のねらい	<p>本事業は、主に中学校における外国語授業の補助、外国語会話学習の補助、幼稚園・保育所・小学校における国際理解教育の補助等を行うことにより、外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、外国との相互理解を増進し、国際化の促進に資することを目標とする。</p>		
事業の概要	<p>「語学指導等を行う外国青年招致事業（JET プログラム）」による外国語指導助手（ALT）を東郷中学校に1名配置。契約団体は鳥取県であり、近年8月期に新規・継続契約を行っている。北溟中学校については本年度より新規で業者委託を開始した。</p>		
取組状況	<p>ALTの一週間の授業時数は概ね次のとおりである。</p> <p><北溟中></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 11学級×週1時間＝11時間 ・羽合小学校 5・6年生6学級×週1時間＝6時間 ・泊小学校 5・6年生2学級×週1時間＝2時間 ・保育所・幼稚園 週に1所・園×2時間＝2時間 <u>計21時間</u> <p><東郷中></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 6学級×週2時間＝12時間 ・東郷小学校 5・6年生4学級×週1時間＝4時間 ・保育所・幼稚園 週に2所・園×2時間＝4時間 <u>計20時間</u> <p>※週の授業数は概ね29時間。うち空き時間は移動時間・指導打合せ・教材研究に充てる。</p>		
予算額	9,037,000円	決算額	8,657,364円
自己評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校における外国語授業や外国語教材作成の補助及び外国語能力コンテスト等への協力により、ネイティブ・イングリッシュの発音を聞く機会が持て、外国語教育の充実を図ることができた。 ・外国語会話学習の補助等幼稚園・保育所・小学校における国際理解教育の補助や地域における国際交流活動への協力により、地域レベルの国際交流の進展を図り、外国との相互理解を増進することができた。 ・北溟中学校のALTについては、中学校をはじめ小学校等と委託業者が責任をもって調整しており、連携が円滑に進んでいる。 	
	課題	<p>直接雇用のALTについては、病気対応やスケジュール調整等に教員が時間を割かれる実情があり、授業効果に重点を置くためには、ALTの労務・スケジュール管理面を責任もって行う民間活用方式を東郷中学校区にも拡大することも検討。</p>	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 4. エンジョイ！イングリッシュプロジェクト in 鳥取 担当課 教育総務課

事業のねらい	平成 23 年度から各小学校において外国語活動が完全実施になる。小学校外国語活動の指導方法等を確立するため、地域の学校のモデルとなる拠点校を指定し、学級担任の教員または外国語活動を担当する教員が中心となる指導体制や学級担任等を補助するための体制の在り方、外国語指導助手（ALT）や地域人材の効果的な活用を含めた実践的な取組みを推進することにより、小学校の外国語活動の水準向上を図る。		
事業の概要	湯梨浜町では、泊小学校を小学校外国語活動の拠点校とし、指導体制や指導方法の実践的研修を行った。授業研究会等は町内の小中学校の職員も参加して、泊小学校の実践的な取組みを研修する場を設け、指導力向上を図った。		
取組状況	<p>◎教員の指導力向上のための取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講師招聘による外国語活動授業研究会 <ul style="list-style-type: none"> 9 月・平井さゆり教諭公開学習（第 6 学年） <ul style="list-style-type: none"> ・昭和女子大学附属小学校 トムマーナー氏の示範授業、講演 11 月・森田和寿教諭公開学習（第 5 学年） <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県教育センター情報課 宗誠氏の講演会 ○中核教員研修会への参加（8 月） ○外国語活動推進フォーラムへの参加 <p>◎効果的な指導方法の工夫改善の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ALT 主導の TT 学習の実施（年間） ○教材開発（年間） <p>◎児童の興味・関心等学習状況の変容の把握と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国語活動アンケートの実施（5 月と 11 月に実施、5・6 年生児童対象） <p>◎小学校外国語活動と中学校英語の連携（9 月、11 月の公開学習を中心に）</p>		
予算額	460,000 円	決算額	457,759 円
自己評価	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師招聘による講義、示範授業、授業研究会により、小学校外国語活動の授業のイメージを持つことができるようになった。 ・拠点校の外国語活動の授業を受けている 5,6 年生の向上が見られた。「英語の言葉はよくわかりますか」というアンケート項目に対し、「よくわかる、大体わかる」の回答が、5 月から 11 月までに 6 年生 44%→58%、5 年生 72%→89%と上昇。「進んで話している」という項目に対し、「よく話している」「どちらかというと話している」の回答が、 		

		<p>5年生 67%→84%と上昇した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で重視する活動を修正し、外国語活動のねらいに迫るようにした。単調な歌や言葉の繰り返し（スキル）を少なくし、ALTの言葉を聞く時間を多くした。その結果、コミュニケーションの基礎である「聞く」ことに重点が移り、ALTや話し手の思いや願いを受けとめようとする意欲が高まってきている。 ・実践を踏まえ、各小学校とも平成22年度年間計画を作成済みである。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点校の取組みを他の小学校へさらに広げていく場を持つこと。また、中学校英語との接続を意識し、連携を進めること。 ・授業におけるALTの活用方法の実践的取組みを進めること。 ・ICT（電子黒板等）の効果的な活用方法を実践研究すること。

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 5. 要・準要保護児童生徒就学援助費

担当課 教育総務課

事業のねらい	経済的に困難な家庭に就学に係る経費を援助し、保護者の負担を軽減して義務教育を円滑に実施する。		
事業の概要	町立小中学校に在籍する経済的に困難な家庭を対象に、学用品費、給食費、医療費などの費用の全部又は一部を援助する。		
取組状況	<p>【平成 21 年度就学援助認定者数】</p> <p>羽合小学校 21 名 東郷小学校 15 名 泊小学校 22 名 北溟中学校 32 名 東郷中学校 14 名</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 20 年度中に要綱を全面改訂し、平成 21 年度より適用。 東郷・羽合・泊の各地域の民生児童委員定例会に出席し、新要綱についての説明。 その後も要綱の見直しを行い、家庭の実態に対応できるよう、一部改訂を行った。 		
予算額	小学校 4,561,000 円 中学校 5,224,000 円	決算額	小学校 4,396,598 円 中学校 4,953,313 円
自己評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> 経済的に困難な家庭への就学に係る経済的援助を行い、保護者負担を軽減した。 様々な家庭状況の調査および面談を行い、就学援助に該当しない世帯についても、関連各課との連携により家庭に必要な支援の提案を行った。 要綱改訂により、公平性の確保および特別な事情のある家庭等について、教育委員会審議に必要な情報提示を行った。 	
	課題	要保護・準要保護世帯について適当な支給費目や支給額、認定要件であるかどうか継続的な点検が必要である。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 6.特色ある学校づくり補助金

担当課 教育総務課

事業のねらい	小中各学校がそれぞれの教育目標に基づき、地域環境や発達課題に応じた特色ある学習や取組みを図るための支援を行う。		
事業の概要	小学校では主に総合的な学習において、中学校ではキャリア教育および地域交流の一環として、特色ある学習活動を行う。		
取組状況	<p>【東郷小学校】 環境と人権を2大テーマとして、竹プロジェクト、東郷池に関するエコ学習、梨作り、人権劇、朝読書等の実施。</p> <p>【羽合小学校】 教育目標の実現に沿った取組みとして、特別支援学級児童との交流活動、ゲストティーチャーによる地域文化学習、朝読書や栽培など環境学習、金管サークル活動を実施。</p> <p>【泊小学校】 研究推進事業と児童の体験的諸活動を2大事業として、総合学習・外国語活動・国際理解教育・人権教育・基礎学力向上に関する研究や、梨や野菜の栽培、ヤギの飼育、ワカメ栽培等の勤労生産活動体験、金管バンド、読書活動、泊貝がら節の行事参加などに取り組んだ。</p> <p>【東郷中学校】 地域における職業体験活動や社会人講師を通じたキャリア教育、龍踊りなどの郷土芸能の伝承、沖縄での文化交流等を実施。</p> <p>【北浜中学校】 地域における職業体験活動や社会人講師を通じたキャリア教育、同和対策事業の現地学習、茶道体験により伝統文化の理解を深めた。</p>		
予算額	小学校 1,200,000 円 中学校 520,000 円	決算額	小学校 1,180,668 円 中学校 480,505 円
自己評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> 各校が教育目標や地域特性、地域課題に応じた独自の活動や学習を継続展開することができた。 地域資源の活用、地域人材との交流、発達課題に応じた学習等については、定着化することにより対象学年への期待を育み、活動の準備工夫を行うことが可能となり効果的に事業を行った。 小学校では、主に環境・人権・読書習慣などのテーマを地域とのつながりの中で学び、学習意欲の向上や地域の誇りを喚起。 中学校では、卒業後の進路や、自分自身を見つめ「生きる力」を 	

		育むキャリア教育および地域や日本の伝統文化の継承者としての学習を深めた。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の特色としてより焦点を絞った計画を立てるよう努めているが、地域への発信・PRについてさらに工夫が必要である。 ・各校における担当者を明確化し、事業実績に対する各校の成果と課題を次年度に活かしていくことが必要である。

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 7. 教育相談員の配置

担当課 教育総務課

事業のねらい	いじめ問題や不登校に対応し、その解決に取り組む。		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・北溟中学校に2名、東郷中学校に1名配置し、生徒や保護者の相談に応じたり、必要な助言や支援を行う。 ・教室に入ることが難しい不登校傾向の生徒を相談室に受け入れ、担任との連絡調整を図りながら適切な支援を行う。 		
取組状況	<p><教育相談員業務></p> <p>教育相談員は、週4日以上(20時間以上)勤務して、その職務に当たるとともに、電話相談、訪問相談にも応じる。</p> <p><心の教室相談員業務></p> <p>480時間を超えない範囲で相談業務内容にそって勤務する。(一日の勤務は4時間を超えない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談室登校をしている不登校傾向の生徒の相談、学習指導、生活指導を行う他、担任等との連絡調整、保護者への電話や家庭訪問等を行った。 ・その他、相談室に来室する生徒への相談、教室に入らない生徒への対応、教師へのアドバイスも行った。 		
予算額	3,815,000円	決算額	3,811,942円
自己評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・教室に入ることのできない生徒にとって相談室登校を支援する相談員がいることは大きな支えとなっている。また、相談員が家庭訪問等も積極的に行っており、不登校生徒を抱える担任にとって、生徒・家庭をつなげる欠かせない存在である。 ・特に北溟中において不登校生徒数が減少した。(昨年度12名→4名) ・休憩中・放課後等には多くの生徒が相談室に来室し、気軽に話しを聞いてもらったりアドバイスを受けていたりしており、ほっとできる居場所となっている。 ・北溟中3名、東郷中1名の不登校傾向の3年生が相談員の働きかけにより相談室登校を続けることができ、4名とも高校への進学を果たすことができた。 	
	課題	相談員の専門性を高めるため、より充実した研修機会を提供していきたい。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 8.運動部活動推進事業

担当課 教育総務課

事業のねらい	地域の有能なスポーツ指導者に中学校部活動の指導を受けることで、運動部活動の活性化および教員の負担軽減、かつ地域社会との連携を図る。		
事業の概要	地域の外部指導者に中学生の部活動の指導を依頼し、運動部活動に対する専門的知識・技能を修得させる。 (鳥取県運動部活動推進事業実施要項に基づき、地域の外部指導者に活動費を補助。1人につき年間10万円を限度)。		
取組状況	東郷中学校バレーボール部に1名委嘱 4月～12月 延べ25回、83時間指導を受けた。		
予算額	300,000円	決算額	100,000円
自己評価	成果	顧問がバレーボール未経験者であったが、外部指導者の指導者により専門的知識や技能を身につけ、あと1勝(1セット)で県大会出場というところまで上達した。 生徒のモチベーションも高まり、更なる飛躍が期待されている。	
	課題	当初は東郷中学校2名、北浜中学校1名で指導者の希望を出していたが、地域人材の確保が実現したのは東郷中学校1名であった。 今後も部活動活性化のために、地域人材の発掘・確保について、早期開拓等の工夫を行うことが必要である。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 9. 児童生徒支援職員（日本語教育支援員等）の配置 担当課 教育総務課

事業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が多い特別支援学級児童生徒の個別支援および通常学級で病気や発達障害のある児童生徒の個別支援を行う。 外国から帰国した児童生徒の日本語教育支援 		
事業の概要	<p>校長や特別支援学級担任の指示を受けながら、以下の児童生徒の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学習支援（適切なサポート） ② 児童がパニックを起こしたり、教室を飛び出すなど緊急時の対応 ③ 必要に応じて、個別の記録 ④ その他特別支援担当教諭及び学級担任の業務の補助 		
取組状況	<p>(羽合小) 3名 [特別支援学級] (泊小) 1名 [特別支援学級] (東郷小) 2名 [通常学級1・日本語教育支援1] (北溟中) 1名 [日本語教育支援] (東郷中) 1名 [通常学級(病弱)]</p>		
予算額	11,457,500円	決算額	11,215,222円
自己評価	成果	<p>1. 特別支援学級 在籍児童が多い知的・情緒の特別支援学級で支援を行った。各学年にまたがって児童が在籍しているため、特に交流学級での児童支援のために配置は欠かせない状況であった。</p> <p>2. 通常学級 LD（学習障がい）・ADHD（注意欠陥／多動性障がい）等の児童に対して個別の支援を行い、授業への適応もすすみ、学習理解を深めることができた。</p> <p>3. 日本語教育支援 町内に来日して4年目の小学生、来日して3年目の中学生がおり、特に国語・社会科等の授業の支援と日本の慣習等の指導や保護者対応を行った。前年度学習に消極的だった小学生も落ち着いて取り組むことができるようになった。また、中学生も高等学校への進学を果たす一助となることができた。</p>	
	課題	<p>学校からの要求が多くなっているが、配置基準について学校現場との協議を深めたい。</p>	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 10. 青少年育成町民会議事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	次代を担う青少年の健全な育成を図るため、広く町民の理解と協力を得ながら、各事業実施機関との連絡調整を行い、その施策を推進することを目的とする。		
事業の概要	《研修部会》青少年の健全育成を推進するための諸研修の実施 《育成部会》「地域の教育力」を育成するための地域事業、親子活動等の推進 《環境補導部会》青少年が健やかに育つための環境整備に関する事業の推進		
取組状況	<p>研修部会 7/11(土) 会員研修会 (社会を明るくする運動と連携) 中央公民館 10/20(火) 青少年健全育成町民研修会 ハワイアロハホール集会室 参加者 113名 講演 学校法人喜田学園理事長 喜田三津雄さん「子どもたちは、今」</p> <p>育成部会 8/22(土) ナイトハイク湯梨浜 「馬ノ山夕日と歴史ロマンハイク」馬ノ山→三軒屋→藩倉コース 一般参加者 92名、体育指導委員 15名、ホエホエ隊(羽合小有志) 10名 5/10(日) 中部地区少年少女のつどい(北栄町) 参加者 20名 8月～9月 家庭の日絵画作品募集 応募数 5作品 10/27(火) 町立青少年の家 直接体験交流会 出席者 14名 講師 社団法人ハーモニーカレッジ理事長 石井一博さん 3/7(日) 子ども会リーダー研修会 中央公民館 大講堂 参加者 126名 講師 鳥取県子ども会育成連絡協議会 理事 小田亨さんほか 演題 「子ども会を理解するために」 子ども会育成者研修会 中央公民館 第1・2会議室 参加者 65名 講師 鳥取県教育委員会 家庭地域教育課 藤山正明さん 演題 「子どもの育ちと子ども会活動」 3/13(土) 鳥取市空山牧場 直接体験活動(ポニー乗馬体験) 参加者 24名</p> <p>環境補導部会 青少年補導活動 延べ 18人参加 7/20(月)水郷祭、7/25(土)とまり夏祭り、8/1(土)はわい祭り 7/1～7/15 あいさつ運動立ち番 参加者延べ 15名 4/21～4/24 第1回高校生マナーアップさわやか運動 参加者 13名 9/15～ 第2回高校生マナーアップさわやか運動 参加</p>		
予算額	380,000円	決算額	264,820円
自己評価	成果	各課題に対する取組みを行い、親子の交流の重要性、地域の環境浄化の意義、地域における子ども会活動の重要性等を啓発することができた。	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 委員は基本的に「あて職」で組織おり、個人の負担が大きくなっている。 青少年育成町民研修会などを通じて、家庭教育に力を入れていく必要がある。 	
教育委員会点検・評価における主要事業シート			

事業のねらい	青少年の家から学校に通学する「通学合宿」を通して、子ども同士の交流、集団活動の体験や保護者から離れた日常生活の体験活動など、様々な体験や友達との交流の輪を広げることにより子どもたちの自立心や社会性を育成する。		
事業の概要	町内の小学生5・6年生の児童を対象とし、1週間青少年の家で集団生活を行う。社会教育委員、鳥取短期大学、食生活改善推進員にも携わっていただき、掃除、洗濯、炊事など生活全般のサポートをしながら子どもたちの自主性、社会性を育む。		
取組状況	<p>6/21（日）～6/27（土）（6泊7日）参加者22名</p> <p>1日目 開校式、オリエンテーション、掃除、食事の準備など</p> <p>2日目 掃除、洗濯、食事の準備、買出し、学習など</p> <p>3日目 掃除、洗濯、食事の準備、買出し、学習など</p> <p>4日目 掃除、洗濯、食事の準備、買出し、栽培漁業センター見学、学習など</p> <p>5日目 掃除、洗濯、食事の準備、買出し、学習など</p> <p>6日目 掃除、洗濯、食事の準備、買出し、学習など</p> <p>7日目 掃除、食事の準備、1週間のまとめ、閉講式など</p>		
予算額	394,000円	決算額	392,482円
自己評価	成果	<p>集団活動を通して仲間同士協力し合うことの大切さ、我慢することなどを学び、自主性・協調性を培うことができた。また、家族と離れて生活することで家族の大切さを改めて感じる事ができた。参加してくれた子どもと親からは「参加してよかった」との声が聞けたので、今後も実施していきたい。</p>	
	課題	<p>近年、参加者が減少している傾向がみられる。スポ少や塾などは不参加とすることを条件としているためもあるが、PR不足も要因の一つではと考える。もっとたくさんの住民に本事業を知ってもらうため、町報、TCCなどを活用して子ども達の様子をお知らせすることも必要である。</p>	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 12. 人権フェスティバル

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすため、様々な人権課題について住民啓発を行い、人権尊重のまちづくりを目指す。		
事業の概要	音楽は「人権」どう表現しているのかを正しく理解することにより、今後の差別のない住みよいまちづくりに向けた一助とする。 封建社会の身分制度から解放された「自由な個人」として人々が自立しようとした時代の音楽、ヒューマン・ライツという思想を生み出した時代精神を講演と音楽から学ぶ。		
取組状況	<p>日時 平成21年7月12日（日）13:00～16:45</p> <p>会場 ハワイアロハホール</p> <p>内容 ○講演「ヒューマン・ライツ（人権）とは」 講師 イタリア生活文化交流協会会長 松本城洲夫さん</p> <p>○公演「音楽は人権をどう表現しているか」 解説 松本城洲夫さん 演奏 アンサンブル・サビーナ</p> <p>○人権のしおり作り体験コーナー等設置</p> <p>参加者 240名</p> <p>この事業の満足度や意見の把握をアンケート調査で行った。</p> <p>回収 90名（回収率37.5%）</p> <p>講演会 満足度88.9%</p> <p>公演会 満足度96.7%</p>		
予算額	848,400円	決算額	848,305円
自己評価	成果	講演では、『人権』とは人間として正しいこと、人間として幸せに生きていくための自由と権利であることを学んだ。 解説を交えながらのアンサンブル演奏では、普段耳にしている、聴いたことのある各楽曲の時代背景、作者の願い、思いなど人権について考えられる心の奥底に沁みた演奏であった。今回は、音楽を視点に『人権』について考える良い機会となった。	
	課題	・本大会の参加者増に向けての取り組みを含め、次年度も様々な人権課題に対する住民啓発をさらに進めていくことが必要である。	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 13. 同和教育推進大会

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくするため、町民に対しこの事業を通し、人権尊重思想の普及・高揚を図ることを目的とする。		
事業の概要	<p>「差別の現実から深く学ぶ」ことを基本理念とした同和教育の成果や視点を継承し、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決のための取組みを一層充実させていく必要がある。</p> <p>本大会を開催し、人権教育の具体的な実践としての同和教育の成果と課題をふまえ、あらゆる差別解消への道筋を明らかにする。</p>		
取組状況	<p>日時 平成21年10月25日(日) 13:30~16:40</p> <p>会場 ハワイアロハホール</p> <p>内容 ○大会テーマ表彰(最優秀作品1点、優秀作品5点) 最優秀作品「その勇氣 差別をなくす きっかけに」 ○中学生2名、高校生1名による意見発表 ○講演『「差別をなくす」から『手をつなぐ』へ 講師 環境教育プランナー 岡本工介さん ○演奏「音楽は国境を超える！」 出演 アフリカン・パーカッションほか</p> <p>参加者 313名 満足度や意見の把握をアンケート調査で行った。 回収 112名(回収率35.8%) 講演会 満足度82.1% 演奏会 満足度67.0%</p>		
予算額	154,740円	決算額	137,541円
自己評価	成果	<p>講演では、見えにくくなっている差別解消への新たな視点として、「共に手をつなぎ、一人ひとりが行動し、出会いに接することの大切さ」を学ぶことができた。</p> <p>演奏では、音楽は国境を越え、国や人種に関係なく、人と人が心でつながっていくことの大切さを感じる事ができた。</p> <p>中学生及び高校生の意見発表により、大人の参加者も学びそして実践することの大切さを再認識することができた。</p>	
	課題	<p>・「差別のない明るい住みよい社会の創造」を目指すため、次年度は分科会を計画し、多くの住民が参加し、意見交換等が実施できる場としたい。</p>	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 14. 文化会館・児童館事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	文化会館・児童館の連携により、児童の心身健全育成の促進と周辺地域を含むコミュニティセンターとしての機能の充実により、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消、人権の町づくりを推進する。		
事業の概要	周辺地域を含めた児童の健全育成及び子育て支援を行いながら、児童福祉の向上を図る。また、周辺地域を含む住民に対して、福祉の向上や人権啓発のための住民交流の拠点となる地域に密着したコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業をはじめ社会福祉等に関する総合的な事業及び人権・同和問題に対する理解を深めるための活動を行い、地域住民の生活の社会的、経済的、文化的改善向上を図るとともに、人権・同和問題の速やかな解決を図る。		
取組状況	<p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「解放の力」育成事業講演 1回、スポーツ教室 1回 ・手作りタイム（浜児童館）11回、 ・保育懇談会「親子読み聞かせ会」1回、 ・読み聞かせ教室「お話会」1回、各種相談業務（61回） ・啓発及び広報活動事業（児童館だより各12回） ・地域交流事業(料理教室、日曜子供会、生活改善指導、解放文化祭) <p>【施設の利用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度内会館日数 245日 ・延べ利用件数 1,131件 延べ利用人数 20,539人 ・浜児童館 延べ利用人数2,447人 		
予算額	隣保館運営費 2,675,000円 児童館費 4,833,000円	決算額	隣保館運営費 2,455,880円 児童館費 4,487,804円
自己評価	成果	同和問題解決を図るための拠点施設であり、部落解放文化祭、中学校学習会、小学校・中学校の現地研修会、小学校・中学校の地区懇談会の場となっている。	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育と家庭教育の連携の強化を図る必要がある。 ・地域住民の各種事業への参加人数を増やすための方策を検討する必要がある。 ・児童館事業については、地域の保育所や幼稚園との連携、PRに一層の努力が必要である。 	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 15. 部落解放文化祭事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	差別を受ける苦しみをはねのけながら、解放へ向けての力強い運動を展開した実績や、その中に育まれた伝統文化をはじめ、年間を通して取り組まれている地区内の諸団体活動の成果を発表し、部落解放への実践へとつなげていく。また、各種団体、関係諸機関等による表現、創作活動などの発表展示の協力を得て、全町民の連帯と理解をより深め、人権文化の高揚を図ると共に、人と人がつながる喜びとすばらしさを実感する。		
事業の概要	部落解放の拠点となる施設を中心に、部落住民や地域の人々の解放へ向けた運動や取組みを、年間活動の集大成として成果を発表し、そこへ参加してもらうことで住民啓発を図る。人権文化の高揚と部落の完全解放を実現するために、部落内外の多くの人々の協力する場として部落解放文化祭を実施する。		
取組状況	<p>【主な事業内容】</p> <p>(催し等)</p> <p>人権啓発活動、保幼小中学校学習発表、大人の発表、伝統文化(ボテ茶)</p> <p>なかよし太鼓、ブラックシアター、高齢者疑似体験等、啓発ビデオ上映</p> <p>(展示)</p> <p>地区の年間活動の発表と作品展示、保幼小中学校作品展示</p> <p>(バザー等)</p> <p>餅つき等外14種類</p>		
予算額	287,000円	決算額	239,177円
自己評価	成果	同和地区内外の多くの人々が交流することで、部落問題をはじめとする人権問題について触れ感じることができ、より多くの人々の参加と協力を得ることで、部落問題の早期解決に寄与することができた。	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・バザー・出展と催し等の時間調整を再考することで、催し等に多くの人に参加してもらうことが必要である。 ・一人でも多くの町民に参加していただくために、PRにさらに努力することや、バスの運行など駐車場対策を検討する必要がある。 	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 16. 湯梨浜町体育協会事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	湯梨浜町民の体育愛好の精神を培うとともに、体育の振興と体力技能の向上を図り一致協力、湯梨浜町の発展に貢献することを目的とする。		
事業の概要	<p>①体育運動の宣伝、啓発指導、奨励を図ること。</p> <p>②体育大会、講習会、その他体育運動に関する各種事業の実施及び援助をすること。</p> <p>③各種競技会に代表選手を派遣すること。</p> <p>④体育運動に関する研究調査をすること。</p> <p>⑤社会体育、スポーツ発展のため功績のあった者に対し、別に定める規定に基づき表彰を行うこと。</p> <p>⑥スポーツ少年団の育成に関すること。</p> <p>⑦その他本会目的達成に必要な事業を行うこと。</p>		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール大会：22チーム（雨天のため中止） ・ナイターリーグ：12チーム ・郡民体育大会 男子総合：3位、女子総合：3位 ・中部駅伝 湯梨浜A：4位、同B：10位 ・駅伝競走大会：46チーム（インフルエンザ流行のため中止） ・グラウンド・ゴルフ大会：329名 ・ゲートボール大会：6チーム バレーボール大会：29チーム ・バスケットボール大会：20チーム 卓球大会：31チーム ・バドミントン大会：31チーム 県民スポレク祭参加 ・表彰：体育功労1、優秀指導1、成績優秀115、成績優秀団体18 ・各競技部において各種大会に参加（活動費、参加費一部補助） 		
予算額	5,010,000円	決算額	5,005,642円
自己評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町民大会の運営を各競技部に依頼しており、スムーズな大会運営となっている。 ・郡民体育大会をはじめ、各種大会に積極的に参加しており好成績を収めている。それにより、表彰対象も多くなっている。 	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町民大会の参加で東郷地域は多いが羽合・泊地域の参加が少ない。 ・年間計画の中で、町主催事業との兼ね合いもあり、秋季に町民大会が集中している。 ・競技によっては固定化された一部の参加者になりがちである。 	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 17. スポーツ少年団運営事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	スポーツを通じて子どもたちの健全な心身の発育を目指す。		
事業の概要	町内で18単位団が活動し、それぞれの団に対し育成強化補助金を交付。また、団同士の交流ができるよう交流事業を実施している。		
取組状況	<p>●指導者謝金 各単位団の代表指導者に年額60,000円を支払っている。</p> <p>●育成強化補助金 各単位団に対し、均等割および団員数による按分で補助金を交付。総額76万円。平成21年度の団員数は370人（町内全児童の4割弱）であった。</p> <p>●スポーツ少年団交流大会（11/23） 団の横断的な交流として、毎年開催しているもの。競技のバランスを保つためにニュースポーツの一つであるペタンクを実施し、体育指導委員が指導にあたる。5団から27人が参加。</p> <p>●競技別交流大会 鳥取県スポーツ少年団が実施する大会について、郡予選として競技別交流大会を開催。野球、ミニバスケットボール、バレーボールを実施し、平成21年度は野球とミニバスケットボールで町内の団が県大会に出場した。</p>		
予算額	2,062,000円	決算額	2,058,860円
自己評価	成果	<p>小学校卒業まで同じ競技を続ける児童が多く、生涯スポーツの端緒となりつつあることが想像できる。</p> <p>また、団体競技を通じて協調性が培われ、心身の健康増進に寄与している。</p>	
	課題	<p>・団員数が減少傾向にある（昨年度入団者417人）。新4年生以上対象にパンフレット製作を行って支援したい。</p> <p>・ユニホームの作成補助金が削減され、更新が止まっている状態である。損耗について申し出があれば、すみやかに予算対応を検討したい。</p>	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 18. 湯梨浜町体育指導委員連絡協議会事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	町民一人1スポーツを目標とし、それを推進する指導者・リーダーとしての役割を担う。		
事業の概要	委員27人が地域・団体へのスポーツ指導を行う。		
取組状況	<p>●スポーツ教室（通年） 地域、団体など合わせて15のスポーツ教室（ニュースポーツ）を開催し、約300人の参加があった。 小学校親子会1回（ペタンク、ドッジビーなど） 公民館活動12回（ペタンク、スカットボール、キンボールなど） 教育委員会2回（セカンドスクールでニュースポーツ指導）</p> <p>●第21回記念グラウンド・ゴルフ発祥地大会（6/13・14） 潮風の丘とまりで実施。競技運営に対し20人の委員が参加した。</p> <p>●第5回湯梨浜町ビーチバレーボール大会（7/12） 石脇海水浴場で実施。会場設営、運営について11人の委員が参加した。</p> <p>●第9回東郷湖ドラゴンカヌー大会（8/23） 招集、出艇、決勝などの係に19人の委員が参加した。</p> <p>●ナイトハイク（8/22） 羽合地域で開催。先導又は後尾の指導を行った。参加委員は7人。</p> <p>●定例会（通年） 月例で会議を開催し、事業計画について検討した。</p>		
予算額	1,700,000円	決算額	1,700,000円
自己評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と同等の教室開催ができた。特定の地域や団体で繰り返し計画されるケースがあり、スポーツ指導としての役割が周知できている。 ・土日の指導依頼については、日程やイベントの重複がない限り、100%対応できている。 	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・指導の回数は増加したが、参加者については減少傾向で前年比70%程度。小学校親子会、子ども会などにも啓発が必要である。 ・事業希望が平日の場合は、委員も勤務があって対応できない。 	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 19. 無形民俗文化財の保護

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	伝統芸能の保存・公開などについて活動している団体に支援することで、先人から受け継いだ文化遺産を途切れることなく未来に継承する。		
事業の概要	町内に5つある体町指定文化財保存団体に、活動補助金を交付。		
取組状況	下記町指定文化財保存団体に対象経費の1/2を上限に補助金交付。 1) 橋津ふるさとの文化を守る会 90,000円 2) 宇野三ツ星盆踊り保存会 45,000円 3) 東郷浪人踊保存会 35,000円 4) 泊大名行列保存会 110,000円 5) 泊貝がら節保存会 25,000円		
予算額	305,000円	決算額	305,000円
自己評価	成果	各団体とも、年次計画にそった伝統芸能の保存・伝承や上演・発表・公開等の活動を実施することができた。	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能の次世代への継承が困難になりつつある。要因として少子化の問題、所属団員の高齢化があげられ、各団体の予算における自己資金比率も低下傾向にある。 ・また、各種の発表の機会を提供・紹介し、担い手や子どもたちの自信を培い、文化財保護の意識高揚を図ることが必要である。 	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 20. 橋津地区歴史景観の整備

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	江戸時代に建立され、現在も当時の姿を留める県指定文化財「鳥取藩橋津藩倉」の保存、整備を行う。		
事業の概要	県指定の3つの藩倉の内、「三十間北蔵」のみ個人所有となっていたため、将来に渡り3倉一体とした保存、整備を行うため、これを町所有として購入する。同時に建物の老朽化が激しいために、補修工事を行う。併せて火災警報装置の設置も行う。「片山蔵」については、平成21年1月の大雪により破損した屋根の修繕工事を行うとともに、文化財として不適と思われる現代的部分（ブロック塀、トタン囲い）の撤去を行う。		
取組状況	次の各事業を実施。 (委託料) 「鳥取藩 橋津藩倉」保存修理工事設計監理 498,750 円 「橋津藩倉 片山蔵」保存修理工事設計監理 25,000 円 (工事請負費) 「橋津藩倉保存修理工事（三十間北蔵）」 5,471,550 円 「橋津藩倉保存修理工事（片山蔵）」 449,400 円 「橋津藩倉三十間北蔵 消防設備工事」 350,700 円 (土地購入費) 「橋津藩倉（三十間北蔵）用地費」 1,242,000 円		
予算額	委託料 6,291,600 円 工事請負費 1,242,000 円 土地購入費 305,000 円	決算額	委託料 6,271,650 円 工事請負費 1,242,000 円 土地購入費 305,000 円
自己評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・県指定文化財の3倉をすべてを町有化した事により、今後、藩倉の保存、管理が格段に容易になった。 ・破損部の補修や、現代的構造物部分の撤去により、建物が堅牢さを増したと同時に外観もより当時の姿に近いものになった。 ・懸案だった防火対策として、火災警報装置の設置により、文化財の安全性が高まった。 	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の事業で、藩倉が建物としての延命が果たせたが、今後も継続的に補修を続けていく事が必要である。 ・文化財としての価値をより多くの町民（または町外に）に向け啓発していく事も大きな課題である。 	

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 21. 湯梨浜文化大学 担当課 生涯学習・人権推進課（中央公民館）

事業のねらい	熟年者が生活課題や時代に対応した知識・教養を身に付けるとともに、仲間との触れ合いを深め、明るく豊かで生きがいのある生活及び自己の充実に資する。		
事業の概要	原則 60 才以上の町民で参加申込みのあった者を対象に、申込者（生徒）全員で生活課題や時代に対応した学習を行う教養講座（全体学習）と、生徒一人ひとりが1年を通して自発的に趣味や技芸を身に付ける趣味講座（書道・ちぎり絵・音楽・短歌・手芸ほか）の16コースを開設し、年間を通して外部より講師を招聘し取り組む。		
取組状況	受講生 273 名（羽合:112 人、泊:89 人、東郷:72 人） 全体学習 10 回、趣味講座（全 16 コース）99 回 【湯梨浜文化大学実施結果】		
	事業名	実施回数	受講延人数 備考
	○全体学習（教養）	10回	932人 講演、体操、視察研修、町内巡り等
	○趣味		
	・陶芸	7回	18人
	・囲碁将棋	7回	121人
	・書道	7回	60人
	・短歌	7回	84人
	・カラオケ	7回	81人
	・まめなかえ(ストレッチ)	14回	150人
	・音楽	7回	74人
	・立体ちぎり絵	7回	44人
	・茶道	7回	34人
	・グラウンドゴルフ	7回	516人
	・おっとせい(水中歩行等)	2回	46人
	・グルメ	3回	46人
	・童謡・唱歌	7回	37人
	・書道(かな)	7回	41人
	・絵手紙	7回	14人
	・軽運動	2回	6人
予算額	796,000円	決算額	759,000円

自 己 評 価	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・熟年者が知識・教養を身に付けるとともに、仲間との触れ合いを深め、明るく豊かで生きがいのある生活を送ることに資することができた。 ・地域の世話人に次年度に向けての積極的な勧誘促進を依頼し、アンバランスの解消に努めた。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味講座の参加者が少ないコースがある。趣味コースの精査、交通手段の確保等について、引き続き学生の意見を聞きながら運営委員会で検討する必要がある。

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 22. 中央公民館施設管理及び利用状況

担当課 生涯学習・人権推進課（中央公民館）

事業のねらい	館を良好な状態で供し、利用者の方に気持ち良くかつ気軽に利用していただくこと。			
事業の概要	館内施設の保守、保安業務委託を実施すると共に、併せて館内の改修工事及び修繕の実施。			
取組状況	【主な維持管理費】			
	項目	中央公民館	羽合分館	泊分館
	光熱水費	2,545,806	1,181,789	1,128,096
	館内各種修繕	719,673	240,850	220,076
	各種保守、保安委託	1,712,550	463,680	635,295
	耐震診断委託	3,780,000		
	ロビー排煙装置修繕	3,307,500		
	非常灯改修工事 他	2,121,000		
	使用料	640,390	109,720	3,452
	その他収入			414,069
	【施設の利用状況】 平成 20 年度			
	中央公民館・・・1,119 件 延 17,831 人 (20,256 人)			
	羽合分館・・・1,239 件 延 12,514 人 (12,572 人)			
	泊分館・・・・・・ 629 件 延 6,917 人 (6,281 人)			
予 算 額	18,391,000 円	決 算 額	18,056,315 円	
自 己 評 価	成 果	館内施設の保守、保安業務委託を実施し、併せて館内の改修工事及び修繕を行い、適正な維持管理に努め、利用者の方に気持ちよく館を利用していただくことができた。		
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館、泊分館の老朽化に伴う設備更新について、国の経済対策に係る交付金を有効に活用しながら、さらに施設の改修が必要と思われる。 羽合分館の一部の部屋で上履き履き替えを要し使い勝手が悪い点や、ロビー展・住民作品展の開催等に制限があること等について検討が必要である。 		

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 23. 図書館事業

担当課 生涯学習・人権推進課

事業のねらい	町民に図書その他の資料を提供することにより、町民の文化と教養の向上を支援する。また、利用者のプライバシーに配慮しながら、町民の知る権利を保障することにより、利用者に信頼され親しまれる図書館を目指す。		
事業の概要	町立図書館・しおさいプラザとまり・羽合図書室の3施設がネットワークを結び、図書の購入と貸出及びレファレンスサービス(参考業務)等の充実を図る。		
取組状況	<p>【図書館分】</p> <p>図書購入費 3,500 千円</p> <p>21 年度末の蔵書数 65,791 冊</p> <p>年間個人貸出冊数 68,790 冊 (H20 年度:66,658 冊)</p> <p>月平均貸出冊数 5,733 冊</p> <p>年間リクエスト件数 9,387 冊</p> <p>21 年度図書受入冊数 購入 2,966 冊 寄贈外 460 冊 計 3,426 冊</p> <p>【羽合図書室分】</p> <p>図書購入費 700 千円</p> <p>21 年度末の蔵書数 13,258 冊</p> <p>年間個人貸出冊数 32,416 冊 (H20 年度:24,223 冊)</p> <p>月平均貸出冊数 2,701 冊</p> <p>年間リクエスト件数 5,384 冊</p> <p>21 年度図書受入冊数 購入 645 冊 寄贈外 40 冊 計 685 冊</p> <p>【しおさいプラザとまり分】</p> <p>図書購入費 800 千円</p> <p>21 年度末の蔵書数 21,636 冊</p> <p>年間個人貸出冊数 18,009 冊 (H20 年度:19,501 冊)</p> <p>月平均貸出冊数 1,501 冊</p> <p>年間リクエスト件数 743 冊</p> <p>21 年度図書受入冊数 購入 719 冊 寄贈外 33 冊 計 752 冊</p> <p>【レファレンス業務】</p> <p>データベース化 約 70 件</p>		
予算額	22,527,000 円	決算額	20,244,912 円
自	成果	図書の購入とその広報に努めた結果、貸出冊数、延べ貸出利用者数とも対前年比で増となった。特に予約・リクエスト件数が大幅に	

己 評 価		増加しており、町民の読書意欲が高まっているものと思われる。また、レファレンスサービス(参考業務)をより一層充実させるため、過去の相談事例のデータベース化を実施した。
	課 題	予約・リクエスト件数が大幅に増加しており、町民の新刊図書への要望が高いことから、図書購入費の確保が望まれる。

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 24. 中学校のあり方

担当課 教育総務課

事業のねらい	子どもたちにとって何が一番大切なのかを基本に、教育委員会として将来の中学校のあり方を具体的データを基に結論を出し、その意見書を町長に提出する。
事業の概要	『東郷中学校及び北浜中学校の将来像を統廃合を含めて幅広い観点から検討し教育環境整備を推進する』ため、平成20年に町長の諮問を受け湯梨浜町中学校統廃合検討委員会が立ち上げられた。同委員会から同年12月に『両中学校の耐震化整備を早急に取り組み、中学校の統廃合は町民の醸成を見極め、期間をかけ議論されること』の答申がなされた経過がある。教育委員会としても平成19年には新設統合との結論を出したが、改めて子どもたちにとって大切なものは何かを基本に、生徒数が減少するという現実（ソフト面）及び建物が老朽化しているという現実（ハード面）から、改めて町内中学校のあり方を検証する。
取組状況	<p>教科担任制による質の高い教育が保障できるのか、部活動の種目数と競技力のレベルの確保が可能かなどを検証するために、9月の教育委員会定例会から毎月テーマを定めて検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○9月定例会(9/30)・・・学年別及び前項の生徒数・学級の推移について検証 ○10月定例会(10/26)・・・部活動の現状、施設の維持管理費等について検証 ○11月定例会(11/19)・・・平成18年度から始まった岩美中学校の整備について現地視察 ○12月定例会(12/22)・・・中学校統廃合検討委員会で交わされた意見について検証 ○1月定例会(1/27)・・・中学校統廃合に係るこれまでの取組みの内容、経過を再確認 ○2月定例会(2/23)・・・子どもたちにとって何が一番大切なのかをソフト面・ハード面から検証 ○3月定例会・・・両中学校の建物に係る耐震状況を確認し、4月定例会には教育委員会として『新しい場所に統合するのが望ましい』との意見書を提出するとともに、再度統廃合検討委員会の招集・

		審議をお願いすることとする。
予 算 額		決算額
自 己 評 価	成 果	過去に一度、教育委員会として新設統合の結論を見出した経過がある中、現在中学校が直面している将来的に生徒数が減少するという現実と建物が老朽化しているという現実の二つの面から検証し、『新設統合するのが望ましい』という結論を改めて再確認することができた。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度の統廃合検討委員会でまとめられた結論との調整及び今後の検討委員会の位置づけ。 ・新設統合した場合又は両中学校を耐震補強・改築した場合の財政負担。

教育委員会点検・評価における主要事業シート

事業名 25. 幼保一体化施設

担当課 教育総務課

事業のねらい	施設の老朽化や入所園児数の減少などの理由から、町立羽合幼稚園、町立浅津保育所、橋津保育所を統合し、幼稚園と保育所を兼ねた一体化施設の建設を進めている。新しい一体化施設のビジョンを策定し、施設建設の具体化を図る。		
事業の概要	保育士を含む子育て支援課、教育総務課の職員からなる幼保一体化施設整備事業検討会議（内部会議）で原案を検討してきた。「幼保一体化施設整備推進検討委員会」で、幼保一体化施設整備事業の経過・進捗状況と今後のスケジュール等を検討していただき事業を推進してきた。また、事業検討のために参考となる施設の視察を行った。		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・住民説明会 平成 21 年 7 月 30 日 ・内部会議の開催実施 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 9 月 3 日 第 4 回会議 29 日 第 5 回会議 12 月 4 日 第 6 回会議 ・幼保一体化施設整備推進検討会議 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 9 月 30 日 第 1 回会議 12 月 14 日 第 2 回会議 平成 22 年 2 月 1 日 第 3 回会議 3 月 3 日 第 4 回会議 ・施設の視察 <ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 1 月 12 日 新温泉町立ふれあいセンター「ゆめっこランド」 (兵庫県美方郡新温泉町湯 1685 番地の 137) 鳥取市立鹿野幼児センター「こじか園」 (鳥取市鹿野町鹿野 583-3) 		
予算額		決算額	
自己評価	成果	<p>○新施設で展開される幼稚教育と保育への理解が深められた(行政内)。</p> <p>○運営形態等の方向性を検討。(湯梨浜方式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育部(3歳児未満児と3歳以上児、自園給食・延長保育・一時保育・子育て支援センターと幼児教育部(3歳以上児、自園給食・預かり保育)) ・保育部(3歳以上児)と幼児教育部は混合クラス ・保育は保育所保育指針と幼稚園教育要領による。 	

	課 題	<ul style="list-style-type: none">・新しい一体化施設のハード面に加え、運営形態等を明確にし、これを受けたソフト面の在り方の具体化が必要である。・定員や保育室数の決定等
--	-----	---

教育委員会議及び教育委員の活動

湯梨浜町教育委員会委員（平成21年度在籍）

職名	氏名 H20.12.25 現在	氏名 H21.7.29 現在	氏名 H21.12.25 現在	保護者
委員長	前田 三郎	前田 三郎	前田 三郎	
同職務代理者	米原 宏枝	米原 宏枝	寺地 政明	
委員	寺地 政明	寺地 政明	熊坂かつ枝	
委員	熊坂かつ枝	熊坂かつ枝	櫻井 俊子	○
教育長	松本 徹	土海 孝治	土海 孝治	

①教育長の異動

平成21年4月に死去した前教育長の後任として、同年7月29日に新たに土海孝治氏が教育長に任命されました。

②委員の異動

平成21年12月24日で任期満了で退任された米原宏枝委員の後任として、同年12月25日に櫻井俊子氏が新たに委員に任命されました。

教育委員会議・教育委員の活動実績等について

平成21年度につきましては、教育委員会議は毎月の定例会の中で教育委員会規則等の一部改正、要保護・準要保護児童生徒の認定、社会教育委員などの委嘱のほか、9月からは毎月テーマを定めて町内中学校のあり方等についても協議を行いました。また、7月、12月、3月に臨時会を開催し、問題事象等発生時に速やかな情報共有を行い問題解決にもあたりました。

《1》 教育委員会議の平成21年度開催実績

教育委員会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しております。平成21年度においては、下記のとおり会議を開催し、審議を行いました。

教育委員会の開催状況（平成21年4月～平成22年3月）

年月日	会議名	議案番号	議案件名等
21.4.24	第5回定例会	18	専決処分の承認を求めることについて（平成20年度湯梨浜町一般会計補正予算（第8号）及び平成20年度湯梨浜町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号））

		19	専決処分の承認を求めることについて（学校、園医の委嘱）
		20	専決処分の承認を求めることについて（学校、幼稚園評議員の委嘱）
		21	専決処分の承認を求めることについて（地区公民館長の任命）
		22	湯梨浜町立学校給食センター設置条例の一部を改正する条例について
		23	平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育長職務代理者の報告 3 件、報告連絡事項 7 件、その他
21. 5. 20	第 6 回定例会	24	湯梨浜町コミュニティー施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 教育長職務代理者の報告 4 件、報告連絡事項 6 件、その他
21. 6. 23	第 7 回定例会	25	専決処分の承認を求めることについて（平成 21 年度湯梨浜町一般会計補正予算（第 1 号））
		26	専決処分の承認を求めることについて（教育委員会の職員の任命）
		27	湯梨浜町都市公園条例の一部を改正する条例について 教育長職務代理者の報告 1 件、協議事項 1 件、報告連絡事項 2 件、その他
21. 7. 23	第 8 回定例会	28	専決処分の承認を求めることについて（平成 21 年度湯梨浜町一般会計補正予算（第 2 号））
		29	湯梨浜町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費交付要綱の一部を改正する訓令について
		30	学校給食における米飯の提供回数・米粉パン導入及び学校給食センターのあり方の諮問について
		31	外国語指導助手の任命について 教育長職務代理者の報告 4 件、協議事項 3 件、報告連絡事項 2 件、その他
21. 7. 29	第 9 回臨時会	32	湯梨浜町教育委員会教育長の任命について
		33	専決処分の承認を求めることについて（教育委員会の職員の任命等） その他
21. 8. 21	第 10 回定例会	34	湯梨浜町コミュニティー施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
		35	平成 22・23 年度から使用する中学校教科用図書の採択について
		36	平成 20 年度教育行政の点検及び評価に係る報告書について
		37	湯梨浜町社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
		38	平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育長の報告 3 件、報告連絡事項 3 件、その他
21. 9. 30	第 11 回定例会	39	平成 21 年度湯梨浜町一般会計補正予算（第 3 号）について
		40	湯梨浜町就学指導連絡会運営要綱の一部を改正する訓令について
		41	湯梨浜町地区公民館主事の職を解くことについて

			教育長の報告3件、協議事項2件、報告連絡事項4件、その他
21.10.26	第12回定例会	42	湯梨浜町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費交付要綱の一部を改正する訓令について
			教育長の報告4件、協議事項1件、報告連絡事項7件、その他
21.11.19	第13回定例会	43	湯梨浜町コミュニティー施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
		44	湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
		45	湯梨浜町地区公民館主事の任命について
			教育長の報告2件、協議事項1件、報告連絡事項4件、その他
21.12.22	第14回定例会	46	専決処分承認を求めることについて（平成21年度湯梨浜町一般会計補正予算（第5号））
		47	専決処分承認を求めることについて（指定管理者の指定について（東郷運動公園））
		48	しおさいプラザとまり管理運営規則の一部を改正する規則について
		49	湯梨浜町立児童館の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
		50	湯梨浜町立学校給食センター職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正する訓令について
		51	湯梨浜町立児童館職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正する訓令について
		52	湯梨浜町立図書館職員の勤務時間等の特例に関する規程の制定について
		53	しおさいプラザとまり職員の勤務時間等の特例に関する規程の制定について
			教育長の報告4件、協議事項2件、報告連絡事項2件、その他
21.12.25	第15回臨時会	54	湯梨浜町教育委員会委員長職務代理者の指定について
			協議事項1件、その他
22.1.27	第1回定例会	1	専決処分承認を求めることについて（平成21年度湯梨浜町一般会計補正予算（第6号））
		2	専決処分承認を求めることについて（平成22年度全国学力・学習状況調査について）
		3	湯梨浜町農林漁業者トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
		4	平成21年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			教育長の報告3件、協議事項1件、報告連絡事項3件、その他
22.2.23	第2回定例会	5	専決処分承認を求めることについて（平成21年度湯梨浜町一般会計補正予算（第7号））

		6	湯梨浜町都市公園条例施行規則の一部を改正する規則について
		7	小学校及び中学校体育館並びに社会体育施設等の照明灯交換基準要綱の一部を改正する訓令について
		8	平成 21 年度湯梨浜町一般会計補正予算(第 8 号)について
		9	平成 22 年度湯梨浜町一般会計補正予算(当初)について
		10	平成 21 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
		11	平成 22 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
			教育長の報告 2 件、協議事項 1 件、報告連絡事項 4 件、その他
22. 3. 12	第 3 回臨時会	12	平成 22 年年度県費負担教職員の人事内申について
		13	平成 22 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
			協議事項 1 件
22. 3. 25	第 4 回定例会	14	専決処分の承認を求めることについて(湯梨浜町都市公園条例の一部を改正する条例)
		15	湯梨浜町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費交付要綱の一部を改正する訓令について
		16	教育委員会及びその他の教育機関の職員の任命等について
		17	湯梨浜町人権教育推進員の任命について
		18	湯梨浜町地区公民館長及び主事の任命について
		19	平成 22 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
			教育長の報告 8 件、協議事項 2 件、報告連絡事項 3 件、その他

※定例会、臨時会を含めて 15 回、56 議案を審議決定した。

《 2 》 教育委員の活動実績

教育委員の活動としては、町内幼・小・中学校への計画訪問(学校訪問)や先進地視察、各種社会教育事業への参加、県内並びに中部地区各教育委員会で合同の研修会も行っております。平成 21 年度の活動実績につきましては下記のとおりです。

《教育委員の活動状況(平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月)》

計画訪問(学校訪問)

年月日	学校名	協議内容等
21. 6. 25	羽合小学校	1 授業参観(1・2校時) 2 説明・協議 (1) 教育目標と学校経営の概要について (2) 開校 4 年目として ・子ども達の様子 ・職員の様子 ・学力向上について ・学校安全について (3) その他(給食費滞納、不登校問題)

	東郷小学校	1 授業参観 (3・4校時) 2 説明・協議 (1) 教育目標と学校経営の概要について (2) 児童の様子について (生徒指導・不登校問題) (3) 学習面の現状と課題について (4) 体験活動・運動面の様子について
	泊小学校	1 授業参観 (5校時) 2 説明・協議 (パワーポイントによる説明) (1) 教育目標と学校経営の概要について (2) 児童の様子について (3) 研究推進について
21.6.26	羽合幼稚園	1 授業参観 2 説明・協議 (1) 園児の実態について (2) 特別に支援を要する園児について (3) 幼稚園教育目標・めざす園児像について (4) 研究テーマについて
	松崎幼稚園	1 授業参観 2 説明・協議 (1) 園児の実態について (2) 家庭教育の方針について (3) 幼稚園の経営方針
	北溟中学校	1 授業参観 (3・4限) 2 説明・協議 (1) 教育目標と学校経営の概要について (2) 生徒の現状について ・学校生活 ・不登校生徒の様子 ・学習の様子 ・教員の様子 ・部活動について
	東郷中学校	1 授業参観 (5・6限) 2 説明・協議 (1) 教育目標と学校経営の概要について (パワーポイントによる説明) (2) 生徒の現状について ・子どもたちの様子 ・職員の様子 (3) 今年度の研究推進体制について (協同学習・図書教育の充実)
21.11.13	北溟中学校	1 授業参観 (1・2校時) 2 説明・協議 (1) 学校生活について (2) 生徒指導上の問題・不登校について (3) 学校公開参加者アンケート結果について (4) 学習・部活動等について (5) 学校評価について
	泊小学校	1 授業参観 (4校時) 2 説明・協議 (1) 学校自己評価結果について (2) 保護者・生徒アンケート結果について
	羽合小学校	1 授業参観 (5・6校時) 2 説明・協議 (1) 子どもたちの様子について (2) 職員の様子について (3) 学校公開参加者・行事参加者アンケート結果について

21.11.17	羽合幼稚園	1 授業参観 2 説明・協議 (1) 幼稚園経営の経過と現状について (2) 研究テーマについて(取組み経過) (3) 学校公開の結果について
	松崎幼稚園	1 授業参観 2 説明・協議 (1) 幼稚園経営の経過と現状について (2) 学校公開の結果について
	東郷中学校	1 授業参観(3・4限) 2 説明・協議 (1) 学校評価計画について (2) 各種テスト・アンケート結果からの現状と課題について (3) 生徒指導、大会成績、教職員の様子等について
	東郷小学校	1 授業参観(5・6校時) 2 説明・協議 (1) 学校の現状について ・児童の様子、実態 ・教職員 (2) 重点目標の取組み状況、成果と課題 (3) 全国学力・学習状況調査結果の分析・考察について

先進地視察

年月日	学校名	研修内容等
21.11.19	岩美町立岩美中学校	岩美中学校を視察し、老朽化が進んでいた校舎の改築の取組んだ経過、状況を研修した。

その他の教育委員活動

年月日	場所等	研修内容等
21.4.2	各小中学校	転入教職員着任式
21.4.6	各幼稚園	入園式
21.4.9	各小中学校	入学式
21.6.13	潮風の丘とまり	第21回グラウンド・ゴルフ発祥地大会開会式(委員長が実行委員)
21.7.11	羽合小学校	第55回東伯郡民体育大会湯梨浜町選手団結団式
21.7.12	ハワイロハホール	人権フェスティバル2009
21.7.26	北栄町ほか郡内	第55回東伯郡民体育大会開会式、各競技会場激励廻り
21.8.6~7	鳥取市	第34回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会
21.9.5	あやめ池スポーツセンター	第31回全国ベテラン卓球ゆりはま東郷大会
21.10.25	ハワイロハホール	湯梨浜町同和教育推進大会
21.12.7	役場	第21回グラウンド・ゴルフ発祥地大会実行委員会(委員長が実行委員)
22.1.3	ハワイロハホール	湯梨浜町成人式
22.3.9	各中学校	卒業式

22. 3. 19	各小学校	卒業式
22. 3. 24	役場	第 21 回グランド・コ ^ス ル ^ル 発祥地大会実行委員会(委員長が実行委員)
22. 3. 24	各幼稚園	卒園式